

# 平成23年度 民家野外博物館「川崎市立日本民家園」 目標と評価シート

## ■日本民家園の使命

日本民家園は、市民の文化・学術・教育の向上に寄与するため、つぎのを行います

1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます
2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います
3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します
4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします

## ■外部評価の目的

(2009.3日本民家園協議会資料より抜粋)

1. 日本民家園の使命を果たすために、園の充実発展に繋がる改善案を探す
2. 園の独りよがりな運営にならないよう、外部の方(利用者・有識者など)の客観的・率直・公平・多様な意見を聞く
3. 評価項目(年度当初案と結果)を公表することにより、広く日本民家園の業務を周知するとともに、実行性を高める
4. 評価を毎年継続実施する中で、前年度の評価や改善点を次年度以降に繋げる
5. 1～4を通じ、職員・協力者(市民)・関係業者のモチベーションを上げる

## ■評価方法

つぎの3段階とする。

- A: 目標を充分達成し成果を上げている
- B: 目標を概ね達成している
- C: 目標を達成しておらず改善が必要である

## ■添付資料

1. 古民家保存修理工事事業計画
2. 民俗部門整備計画
3. 民俗部門展示・出版計画
4. 民家園叢書一覧及び計画
5. 大岡資料目録一覧及び計画
6. 総合防災設備整備計画
7. 平成22年度事業報告
8. 平成23年度事業計画

## ■目次

1. 民家野外博物館としての研究・展示・普及活動
  - (1) 文化財建造物・民具などの保存・整理・調査研究と補修の推進
  - (2) 展示及び教育普及活動の充実
2. 民家野外博物館としての運営・管理活動
  - (1) ミュージアム・マネジメントの確立
  - (2) 広報活動の強化と観光客の積極的誘致
  - (3) 利用者の利便性・快適性・安全性の向上

【収集・保存・整理】【調査研究】【情報発信】  
【展示】【教育普及】

【総務】  
【情報発信】  
【管理】

# 1. 民家野外博物館としての研究・展示・普及活動

## (1) 文化財建造物・民具などの保存・整理・調査研究と補修の推進

<b>対象使命</b>	1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。	3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。
-------------	---	---

現状：東日本における江戸時代の古民家を中心に移築復原した。長期計画を立て、緊急度の高いものから補修工事を実施している(資料1)。日常的な維持管理としては、燻煙と清掃、巡回警備を実施している。収集資料については、民具の整理を企画展示と連動して行い、目録を刊行(資料2、3)、建築関連資料についても大岡實博士文庫の整理を進め、目録や民家園叢書の刊行を行っている(資料4、5)。また、総合防災施設設備事業(資料6)も進行中である。

実施目標	中期目標(3年、H25まで)	H23年度計画	H23年度事業実績	指標	今後の課題	内部評価
①文化財建造物維持管理の推進	屋根補修工事推進 その他補修工事实施 保存修理における伝統技術継承 燻煙と清掃の定期的実施	山下家・工藤家屋根補修工事 その他小修繕工事		計画に対する達成度		
②収蔵資料整理の推進	企画展示に合わせた各民家収蔵資料整理 大岡實博士文庫資料整理	岩澤家・井岡家・太田家住宅の収蔵資料整理 大岡資料整理		計画に対する達成度		
③総合的防災対応体制の整備	防災工事実施(消火設備・自火報)、耐震診断6件補強設計4件補強工事2件 関連部署との密接な連携	防災工事実施(消火設備) 耐震診断2件(鈴木家・三澤家)		計画に対する達成度		
④調査・収集・研究の推進	所在地民俗調査 大岡資料整理 野外博物館団体・研究者等との交流推進	井岡家・太田家住宅調査 大岡資料解説・分析 野外博物館団体・研究者等との交流(註1)		計画に対する達成度		
⑤学芸活動の成果公表	民俗資料目録・大岡資料目録・民家園叢書の刊行	岩澤家・井岡家資料目録刊行 民家園叢書刊行 太田家復旧映像のHP公開検討		計画に対する達成度		

<b>外部評価 評定意見</b>	
----------------------	--

## (2) 展示及び教育普及活動の充実

対象使命	1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。		3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。			
<p>現状：古民家を野外展示するとともに、民家の構造や暮らしについては常設展示室で、各古民家の暮らしについては企画展示室で順に紹介している(資料2、3)。古民家内では各地域の民具のほか、年中行事の展示を行っている。このほか、民家の補修工事や囲炉裏の火焚きなども展示の一環としてとらえ、作業風景が見られるよう工夫している。普及活動としては、学習講座・体験講座・お茶会・昔話等を実施しているほか(資料7、8)、学芸員実習や小学校の体験学習の受入もを行っている。炉端の会、民具製作技術保存会は民家園の教育普及活動を支え、協力者会議を開催して事業運営の改善を進めている。</p>						
実施目標	中期目標(3年、H25まで)	H23年度計画	H23年度事業実績	指標	今後の課題	内部評価
①建造物等資料の公開展示の仕方の工夫	企画展示に合わせ民家内の展示整備 生活についての展示検討 説明板充実	岩澤家・井岡家内の展示整備 茅葺見学会開催		計画に対する達成度		
②企画展示の充実	各古民家及び建築用具をテーマとした企画展示開催	岩澤家展開催 井岡家展開催		企画展示室入室者数		
③各種講座の充実	古民家・伝統的生活文化に対する理解を深めるための市民向け講座の開催	企画展に連動し講座を開催 建築の見方に関する講座を開催 体験講座の開催 受講者ニーズ把握		受講者アンケート満足度(註2)		
④建物解説・ガイドの充実	解説・ガイド活動の充実	解説補助パネルを引き続き作成 ガイド内容魅力向上		解説・ガイド参加者数(註3)		
⑤催し物の充実	民家の魅力を引き出し、再来園のきっかけとなる催物の開催	夜間公開・お茶会・歌舞伎・人形浄瑠璃を開催 民具製作実演・昔話等の実施 月見・正月行事の開催		参加者数(註4) 無料入園日入園者数		
⑥図書コーナー設置	利用者向け民家・民俗関連の図書コーナー設置	原家図書コーナーの充実と運営方法検討、予算要求		計画に対する達成度		

⑦伝統工芸館の充実活性化	藍染め体験の利用促進 講座・展示の改善 施設設備の補修・整備	藍染め体験のPR強化 館内施設整備・補修 アンケートの継続実施 佐々木家で藍染情報提供検討		体験者数		
⑧学校との連携の強化	体験学習・社会科見学の利用促進 中・高・大学の利用促進	体験学習・社会科見学の受入 博物館実習の受入		見学校数、体験実施校数		
⑨市民協働による事業の展開と民家園改善の推進	民技会の活動支援 催し物開催にともなう市民団体との連携強化 協力者会議、協議会の開催による運営の改善推進	民技会の活動支援 市民団体協力による催し物実施 協力者会議、協議会の開催		計画に対する達成度		
⑩ボランティア団体の活動支援と育成	学習会等研修機会の提供 ガイド等諸活動の支援 自主性・多様性を持った活動の促進	学習会等研修機会の提供 ガイド等諸活動の支援 ボランティア講座の実施 自主的運営の促進		床上公開棟数・利用者数、炉端活動延人数		
外部評価 評定意見						

## 2. 民家野外博物館としての運営・管理活動

### (1) ミュージアム・マネジメントの確立

対象使命	1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。	3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。
------	---	---

現状： アンケートで来園者ニーズを把握するとともに、事業評価を実施し、運営の見直しを行っている。また、生田緑地再編に向け、岡本太郎美術館・青少年科学館と連携を強化し、各館の特色を活かす管理運営方法を検討している。危機管理については、消防訓練を実施、危機管理マニュアルも一部作成している。人的な資質向上をめざして各種研修も実施している。また、年間パスポートの販売等、リピーター確保のため工夫を重ねている。

実施目標	中期目標(3年、H25まで)	H23年度計画	H23年度事業実績	指標	今後の課題	内部評価
①来園者ニーズの把握	アンケートの継続実施と分析結果の活用 アンケートに対する回答の公表方法の確立	アンケートの分析と活用 囲炉裏端でのアンケートによる中高年層のニーズ把握 回答の公表方法の検討		来園者アンケート満足度(註5)		
②外部評価の継続と活用	事業評価制度の活用	事業評価の継続実施		計画に対する達成度		
③効率的な運営と生田緑地の施設運営管理一体化	一体化による管理方法の確立 指定管理移行時の業務の質確保 日本民家園の統一性の維持	生田緑地の一体化を進める施設運営管理方法の検討 生田緑地連携事業の継続		計画に対する達成度		
④危機管理体制の整備	危機管理マニュアルの整備 防災(火災・地震)訓練の内容充実と継続的实施	市民参加の訓練(火災・地震)実施と行動マニュアルの作成 文化財防火デー啓発事業実施 危険個所の現状把握		計画に対する達成度		
⑤経済的な自立度	入園料など収入確保による安定的運営 (目標指標 25%)	収入の確保、支出経費の見直しによる安定的運営の実施(註6)		歳出に占める歳入の割合(註7)		
⑥組織と職員 の資質向上	園内の情報共有化 専門職の長期確保 職員の資質向上	園内の情報共有化の推進 職員の資質向上に向け、研修・講座受講・視察機会の確保(註8)		計画に対する達成度		
⑦来園者確保	H23年度 100,000人 H24年度 90,000人 H25年度 90,000人 (工事による部分閉園のため)	H23年度 100,000人 年パス利用者確保(3.5%) 学校向け家族優待券継続配布 市博物館共通利用券使用促進 類似施設パンフレット配布		入園者数、パスポート売上枚数・入園者数(註9)		

外部評価 評定意見						
--------------	--	--	--	--	--	--

## (2) 広報活動の強化と観光客の積極的誘致

<b>対象使命</b>	1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。	3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。
-------------	---	---

**現状：** ホームページの充実に力を入れているほか、各種広報物を制作し、市の関係機関や観光協会連合会とも連携しながら配布している。生田3館では広報についても連携を深め、共通の施設案内パンフや催物案内を発行している。また外国人誘致にも力を入れ、リーフレットの多言語化、英語版ホームページの拡充を進め、英語ガイドも実施している。

実施目標	中期目標(3年、H25まで)	H23年度計画	H23年度事業実績	指標	今後の課題	内部評価
①民家園の魅力発信	広報予算費の確保 インターネットを利用した情報発信の推進	インターネットによる情報発信 HPの更新と改訂 (HPアクセス数 目標10万件) 車内ポスター掲出		HPアクセス数		
②外国人向け広報とサービスの充実	簡易版外国語リーフレットのHPアップ 羽田国際空港へのPR 英語ガイド充実	簡易版外国語リーフレットのHPアップ(2か国語) タガログ語リーフレット刊行(白黒版)		外国人入園者数 英語版HPアクセス数		
③観光客の積極的誘致	経済局商業観光課・観光協会との連携 宿泊施設への広報物送付 観光業界へのアプローチ	経済労働局商業観光課・観光協会との連携 観光業界へのアプローチ バス駐車場確保のため働きかけ		計画に対する達成度		
④生田緑地の情報発信	生田緑地共通広報の継続 指定管理体制移行時の情報発信のしくみ作りと効果的運用	生田緑地共通広報の実施 区民祭等での関係機関との連携アクセス表示改善へ働きかけ		計画に対する達成度		

<b>外部評価 評定意見</b>	
----------------------	--

### (3) 利用者の利便性・快適性・安全性の向上

<b>対象使命</b>	1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。	3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。
-------------	---	---

現状：来園者サービス施設として、救護室や授乳スペース等を整備、ショップではオリジナルグッズも販売している。敷地内の環境は展示の一環として整備を進め、案内板の補修・増設、バリアフリー工事等を行っている。

実施目標	中期目標(3年、H25まで)	H23年度計画	H23年度事業実績	指標	今後の課題	内部評価
①来園者サービス施設の整備・オリジナルグッズの開発	オリジナルグッズ制作と販売促進 休憩スペースの確保検討	伝統工芸館休憩室活用促進 オリジナルグッズ制作と販売促進 ベンチの増設		計画に対する達成度		
②敷地内環境の整備	植栽管理 園内案内版の作成・修繕	植栽管理 園内案内板の作成・修繕		計画に対する達成度		
③バリアフリーの推進	敷居スロープの継続的製作 園路手すり整備検討	敷居スロープ製作1箇所		計画に対する達成度		
④窓口(券売・インフォメーション)業務の質向上	電話対応等の向上 研修(接遇・園概要)実施	接遇研修の実施(警備員含む) 案内文英語版拡充		計画に対する達成度		

<b>外部評価 評定意見</b>	
----------------------	--

## ■註

- 1 長期目標として「民家園が民家保存継承に関するソフト・ハードの情報拠点として情報発信が可能となるよう、野外博物館団体・建築技能者・研究者・行政機関・民家所有者・民家愛好家などの支援・協力を得て情報拠点としてのネットワーク形成に寄与する」ことが挙げられる。
- 2 ①民家園講座 「講座の内容はどうか？」の質問で、「非常に良かった」「良かった」「普通」「あまり良くなかった」の4項目のうち、「非常に良かった」「良かった」と回答した人の割合。  
②体験講座 「参加してどうか？」の質問で、「面白かった」「まあまあ」「つまらなかった」の3項目のうち、「面白かった」と回答した人の割合。
- 3 民家解説・園内ガイド・団体ガイド(英語含む)利用者数。
- 4 事業報告(社会教育要覧)の教育普及事業一覧から講座・園内解説・学校体験・床上公開・民家園まつり・多摩区民祭を除いた事業の参加者数。
- 5 「全体の印象は？」の質問で、「よかった」「つまらない」「どちらとも言えない」の3項目のうち、「よかった」と回答した人の割合。
- 6 「民家園の魅力を高める」ことを追求するのが入園者を増やす一番の方法であり、協力者会議・協議会などで議論を重ね実現化を模索している。
- 7 歳出＝経常経費の決算額(修理工事・総合防災など特殊経費、人件費を除く)、歳入＝入園料・受講料収入など(国庫補助などを除く)
- 8 H25年度に組織再編の可能性が高い。専門職の配置のあり方の検討が必須である。
- 9 入園者数は指標の一つであるが、入園者増だけで良いのではなく、熱心な入園者を評価する指標を検討する。

事業評価シート 資料1

日本民家園 古民家保存修理工事 事業計画

単位千円

No	指定区分	建造物名称	葺材	修理履歴	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
1	重要文化財	旧伊藤家住宅	茅	S40移、S50屋(部分)、S54部、S62屋(部分・棟)、H3屋(部)、H7屋(部)、H13屋・部、H22屋(部)								
2	重要文化財	旧佐々木家住宅	茅	S42移、S48屋(部・庇)S55屋(部・棟)・部、S59部、S63屋(部・棟)、H2屋(庇)、H3屋(庇)H6部(不陸補正)、H9屋(部・棟)、H21屋・部							差茅 12,000	
3	重要文化財	旧江向家住宅	茅	S42移、S48屋(棟)、S51屋(棟・窓屋根)、S54災、S55屋(部)、S56屋(部・窓)、S58屋・部、H5屋(部・棟)、S8屋(窓)、H10屋・部、H21屋(部)				棟補修 差茅 15,000	差茅 18,000			
4	重要文化財	旧北村家住宅	茅	S42移、S54災(棟)、S60屋・部、H6屋(部)・部、H11屋(部)、H12屋(部)、H22屋(部)								
5	重要文化財	旧作田家住宅	茅	S43移、S52屋(棟)、S54災、S59屋・部、H6屋(部)・部、H12屋(部)				★ 屋根葺替 30,000				
6	重要文化財	旧太田家住宅	茅	S44移、S52(部、棟)、S57屋・部、H3～H4焼損復旧、H8屋(部)、H12屋(部)、H17屋(部)						★ 屋根葺替 25,000		
7	重要文化財	旧工藤家住宅	茅	S45～S46移、S56屋・部、H3屋(部)、H6屋(谷)、H8屋(谷)、H11屋(部)・H21屋(部)	★★★ 葺替 23,520							
8	県指定重要文化財	旧三澤家住宅	板	S46移、S51、S55、H4屋、H17屋							部分葺替 30,000	
9	県指定重要文化財	旧山田家住宅	茅	S60移、H5屋(部)、H17屋					★ 部分葺替 15,000			
10	無	旧山田家住宅便所	茅	S60新築、H18葺替								
11	県指定重要文化財	旧野原家住宅	茅	S41移、S56屋、H7屋、H17屋(部)		★★ 正面差 葺6,000				★ 部分葺替 18,000		
12	県指定重要文化財	旧鈴木家住宅	茅	S45移、S59屋、H4屋(部)、H21屋								差茅 15,000
13	県指定重要文化財	旧広瀬家住宅	茅	S43移、S54、S59、H5屋、H19屋(部)			★★★ ★ 葺替 21,000					
14	県指定重要文化財	旧岩澤家住宅	茅	H1移、H7屋(部)H18屋(部)			★★★ 部分葺替 10,000					
15	県指定重要文化財	旧菅原家住宅	茅	S58移、H6屋(部)、H14屋(部)		葺替 25,000						
16	県指定重要文化財	旧清宮家住宅	茅	S40移、S48、51屋(部)、S58屋、H5屋(部)、H18屋(部)						★ 部分葺替 13,000		
17	市指定	蚕影山祠堂	茅	S44移、S51S60屋、H6屋(部)		★★★ 葺替 5,000						
18	市指定	水車小屋	茅	S56移、H6屋(部)、H22屋(部)				葺替 5,000				
19	市指定	木小屋	杉皮	H5移		★ 葺替他 3,000						
20	県指定重要文化財	井岡家住宅	瓦	S61移					葺替 30,000			
21	県指定重要文化財	山下家住宅	茅	S45移、H8屋	★ 部分差 葺 8,510				部分差 葺 25,000		部分差 葺 20,000	
22	市指定	沖永良部の高倉	茅	S44移、H15屋、H22屋(部)							★ 差茅 2,000	
23	市指定	船頭小屋	杉皮	S49移築、S60屋、H12屋						★ 葺替他 2,000		
※修理履歴について※ 主に屋根に係わる修理履歴のみ記載。小規模自費修理は除く。 屋(部)＝屋根部分修理を表す。屋(部)・部＝屋根部分修理とその他の部分修理を表す。					★の数は平成17年の予定表より遅れた年数を示す							

### 日本民家園民俗部門整備計画

1. 現状

(1)整理・展示

平成15年度(2003)より資料整理・目録作成・企画展示と、3つの作業を連動させて進めている。同時に、民家の旧所蔵者を訪ねて衣食住・生業等について聞き取りを行い、調査報告を目録に合冊して刊行した。さらに、目録作成時の電子データを活用し、資料のデータベース化も進めている。

(2)保存

当園の収蔵庫は所蔵点数に比べて狭く、資料の大多数は古民家の屋根裏等に保管されている。保存環境は良好とはいえないが、改善を重ね、資料を直置きしないよう棚を設け、防塵用のクロスで覆う作業を進めている。また、清掃の委託範囲も屋根裏に広げ、ボランティアとも協同して清浄に保つよう工夫を重ねている。収蔵庫については平成17年度(2005)に酸化プロピレンによる全室燻蒸を行ったあと、新たに収蔵する資料については二酸化炭素ガスにより殺虫処理を行っている。また棚を増設して収容力を高め、同時に耐震補強も行った。

(3)収集

収蔵スペースがないため、現在積極的な収集活動は行っていない。

2. 基本方針

(1)整理・展示

民家を主とし、民具の展示はそこでの生活を知るための補助と位置づける。このため民家内には、その民家の資料を、その資料が本来あるべき位置に展示することを基本とする。旧来の展示(民家を展示スペースととらえたテーマ展示)が混在している様があるが、企画展示に合わせて整備する。

(2)保存

野外博物館という特性をよく理解し、民家で本来行われていたメンテナンス方法を取り入れながら、資料の保存環境の向上に努める。

(3)収集

川崎市には、市域の資料全般を収集対象とする博物館として市民ミュージアムがある。このため当園は古民家の博物館としての性格を活かし、建築に関わる資料を収集対象とする。

この他、各古民家の展示充実を図るため、旧所蔵者の資料は上記以外のものについても収集対象とする。

3. 今後の計画

(1)整理・展示

引き続き年に2棟(合掌民家を扱う年度は1棟)のペースで、資料整理・目録作成を進め、企画展示を開催する。同時に聞き取りを進め、各家ごとの生活習慣を記録に残す。古民家の旧所蔵者は急速に高齢化が進んでいるため、この業務は優先的に進めていく。

(2)保存

民家の屋根裏に保存されている資料の保存環境を向上させていく。具体的には、直置きされている資料をできるだけコンテナに収めて棚に収納し、清掃しやすい環境を作っていく。

(3)収集

収蔵スペースの都合上積極的な収集活動は行えないが、古民家の旧所蔵者から話があった場合は対応する。また、建築関係の資料については、作業工程を理解する上でまとまりのあるものについては収集していく。

### 日本民家園民俗部門展示出版計画

年度		タイトル	刊行物
15年度	前期	展示室整備	—
	後期	「芝居の立つ町」－船越の舞台のふるさと－	『日本民家園収蔵品目録1 旧船越の舞台』
16年度	前期	「家の神々」－作田家の守り札－	『日本民家園収蔵品目録2 旧作田家住宅』
	後期	「蚕影山」－養蚕信仰の世界－	『日本民家園収蔵品目録3 船頭小屋・蚕影山祠堂』
17年度	前期	「伊那の薬屋」－信州・三澤家のくらし－	『日本民家園収蔵品目録4 旧三澤家住宅』
	後期	「清宮家」－登戸に生きる－	『日本民家園収蔵品目録5 旧清宮家住宅』
18年度	前期	「山と風」－甲州・広瀬家のくらし－	『日本民家園収蔵品目録6 旧広瀬家住宅』
	後期	「雪に暮らす」－川崎で出会う北国－	『日本民家園収蔵品目録7 旧菅原家住宅』
19年度	前期	「むかしむかしかわさきで」－民家園のはじまり・重文伊藤家住宅－	『日本民家園収蔵品目録8 旧伊藤家住宅』
	後期	「千曲川のほとりで」－佐久の染物屋・佐々木家－	『日本民家園収蔵品目録9 旧佐々木家住宅』
20年度	前期	「川崎の近代和風建築」－旧原家住宅－	『日本民家園収蔵品目録10 旧原家住宅』
	後期	「南部曲屋」－重文・工藤家住宅の暮らし－	『日本民家園収蔵品目録11 旧工藤家住宅』
21年度	前期	「貞享四年」－年号のある民家・重文北村家住宅－	『日本民家園収蔵品目録12 旧北村家住宅』
	後期	「宿場の家」－奥州街道・鈴木家－	『日本民家園収蔵品目録13 旧鈴木家住宅』
22年度	前期	「登戸の左官」	—
	後期	「合掌造り」－野原家の暮らし－	『日本民家園収蔵品目録14 旧野原家住宅』
23年度	前期	「神奈川の村」－愛甲郡清川村・岩澤家－	『日本民家園収蔵品目録15 旧岩澤家住宅』
	後期	井岡家	『日本民家園収蔵品目録16 旧井岡家住宅』
24年度	前期	太田家	『日本民家園収蔵品目録17 旧太田家住宅』
	後期	山下家	『日本民家園収蔵品目録18 旧山下家住宅』
25年度	前期	大岡寛博士関連展示	—
	後期	江向家	『日本民家園収蔵品目録19 旧江向家住宅』
26年度	前期	「大工の道具」	—
	後期	山田家	『日本民家園収蔵品目録20 旧山田家住宅』
27年度	前期	「鳶職の道具・屋根職の道具」	—
	後期	東日本の養蚕用具	『日本民家園収蔵品目録21 別刊 佐地家供待・水車小屋・高倉・木小屋調査報告』

事業評価シート 資料4

民家園叢書一覧及び計画

日本民家園叢書1	日本古建築の特質 関口欣也 日本の塔 濱島正士	平成10年9月
日本民家園叢書2	日本の仏堂 鈴木嘉吉 桂離宮とその文化的背景 斎藤英俊	平成13年3月
日本民家園叢書3	多摩丘陵の農家 1955年細山 -日本民家園の発端- 関口欣也	平成15年3月
日本民家園叢書4	日本民家園の雪囲い 監修上野勝久・野呂瀬正男 編集大野敏・小坂広志・砂川康子・増渕和夫	平成15年3月
日本民家園叢書5	土蔵の屋根修理を通して見た茅葺の地域性 川崎市麻生区飯草家土蔵の事例から 大野敏	平成17年3月
日本民家園叢書6	日本民家園草創期の記憶 -旧三澤家住宅・旧工藤家住宅- 野呂瀬正男	平成18年3月
日本民家園叢書7	日本民家園草創期の記憶2 -沖永良部島の高倉・蚕影山祠堂・旧山下家住宅- 野呂瀬正男	平成18年12月
日本民家園叢書8	日本民家園草創期の記憶3 -旧鈴木家住宅・旧船越の舞台- 野呂瀬正男・田代勉・小坂広志	平成20年3月
日本民家園叢書9	日本民家園草創期の記憶4 -旧井岡家住宅・旧佐地家の門侍・水車小屋- 野呂瀬正男	平成22年3月
日本民家園叢書10	民家は何の木で出来ているか 中尾七重・布谷知夫	平成23年3月
日本民家園叢書11	日本民家園草創期の記憶5 -旧山田家住宅・旧菅原家住宅- 野呂瀬正男 (予定)	平成24年3月

事業評価シート 資料5

大岡資料目録一覧及び計画

大岡文庫目録	日本民家園大岡文庫蔵書目録	平成7年3月
大岡文庫目録	大岡實博士文庫写真資料目録Ⅰ	平成10年3月
大岡文庫目録	大岡實博士文庫写真資料目録Ⅱ 図面資料及び摺拓本資料目録	平成12年3月
大岡文庫目録	大岡實博士文庫書類資料目録Ⅰ	平成14年3月
大岡文庫目録	大岡實博士文庫書類資料目録Ⅱ(新築設計関連資料)	平成21年3月
大岡文庫目録	大岡實博士文庫原稿・調査ノート資料目録Ⅰ	平成15年3月
大岡文庫目録	大岡實博士文庫原稿・調査ノート資料目録Ⅱ(野帳)	(未定)
大岡文庫目録	大岡實博士文庫書類資料目録Ⅱ(大学関連)	(未定)
大岡文庫目録	大岡實博士文庫写真資料目録Ⅲ(プリント写真)	(未定)

事業評価シート 資料6

日本民家園総合防災整備事業

1 目的:文化財建造物を火災の被災から予防又は最小限に防護するため。また大地震時に来園者の安全をはかるため。  
 2 理由:  
 (1)開園40年を超え、消防施設の著しい老朽化と建造物の位置する高低差等から二件以上の建造物への消火能力に欠けること。  
 (2)開園以来水道配管の取り替え等を行っていないことに伴う老朽化、移築毎の配管の接続等から漏水事故が続いてきていること。  
 (3)職員の削減、管理面積の規模等から、旧式の防災設備では消火や入園者の避難誘導等への的確な対応が難しいこと。  
 (4)三澤家水車小屋間の園路改修が必要である。  
 (5)古民家の耐震性能を検討し必要な場合は耐震補強工事を施す。鈴木家について所有者診断をした結果5項目中2項目で基準を下まわり、早急に専門家の耐震診断が必要である。  
 (6)工事については文化庁から国庫補助事業(防災、特殊)の補助金交付申請書を提出する。

NO	事業内容	年度計画						
		20	21	22	23	24	25	26
1	調査・基本設計	○						
2	実施設計・文化庁協議・計画通知		○	○				
3	防災水道設備・自火報改修(国庫補助事業)			○	○	○	○	○
4	防災水道設備・自火報改修(市費)				○	○	○	○
5	三澤水車小屋間園路改修			○				
6	古民家耐震性能検討及び補強				○	○	○	○
事業費	合計	○	○	○	○	○	○	○
	財源	国庫補助金			○	○	○	○
		一般	○	○	○	○	○	○

事業評価シート 資料7 日本民家園 平成22年度事業実績  
展示

事業名	期 日	会 場	内 容
企画展示	「宿場の家」-奥州街道・鈴木家-	～5/30	旅館屋を営んだ鈴木家の暮らしぶりや「旅」と「馬」にちなんだ資料を紹介。
	「登戸の左官」	7/1～11/28	職人の町として知られた登戸の左官道具を紹介。
	「合掌造り—旧野原家住宅—」	H23/1/4～5/29	富山県の五箇山から移築された旧野原家住宅の暮らしを紹介。
ミニ展示	「節句—こいのぼり」	～5/5	こどもの日にちなんだ作品の展示
	「藍T—藍染めTシャツのみりよくvol.3」	4/21～5/25	型染め、絞り染めによる手作り感あふれる藍染めTシャツの展示。
	「型紙展示—紅型小紋」	6/1～7/31	型紙の展示。
	「講習会作品展示—型染め初級」	8/1～9/20	工芸館スタッフと講座受講者による型染め作品の展示。
	「講習会作品展示—型染め中級」	9/21～11/30	工芸館スタッフと講座受講者による型染め作品の展示。
常設展示	文化財建造物展示	通年	移築・復原した古民家等25件。
	本館展示 石造物展示 民俗資料展示	通年	民家及び民家の生活に関する展示。 園路沿い。道祖神・庚申塔・馬頭観音等。 生活用具・農具等。
年中行事	年中行事展示	毎月	節句雛・田植え祝い・盆棚・小正月飾り等、古民家の年中行事を展示。
	雪開い	11/27～3/13	茅などで家を囲い、雪と寒さを防ぐ雪開いを再現。

教育普及活動

事業名	期 日	会 場	内 容・講師・出演者・協力団体等	備 考	
民家園講座	300歳の民家—そのみかた—調べ方	6/12・19	民家の構造など見方のポイントと佐々木家修復工事見学や奥州実習。外山明彦(園職員・建築職)	8人	
	古民家の話—民家の壁	7/3・10	大野敏(横浜国立大学准教授)・澁谷卓男・安田徹也(園職員)	16人	
	「民家再生の諸相」	12/4・11	日塔和彦(文化財建築技師)・長谷川順一(建築設計事務所主宰)	10人	
	古民家の話—合掌造り	2/19・26	大野敏(横浜国立大学准教授)・澁谷卓男・安田徹也(園職員)	26人	
体験講座	ボランティア講座	1/15～2/5	新規会員向け、木下あけみ・外山明彦・澁谷卓男他園職員	33人	
	わら細工 ぞうり	5/23	作田家	20人	
	竹細工 六つ目(小判型)	5/30	原家	25人	
	はた織り 裂き織り	5/30,6/6,13	原家	13人	
	竹細工 菱四つ目かご	6/27	作田家	24人	
	親子体験「あしなか」	7/25	作田家	10組	
	親子体験「風車」	8/1	原家	10組	
	親子体験「裂き織りを楽しむ」	8/8	原家	7組	
	親子体験「草木染め」	8/22	伝統工芸館	9組	
	わら細工 わらじ	10/10	作田家	9人	
	綿の実から糸まで	11/7	原家	10人	
	竹細工 手付き六つ目かご	11/21	作田家	16人	
	わら細工 釜しき	12/5	作田家	8人	
わら細工 しめ縄(たまかざり)	12/23	作田家	20人		
まゆ玉団子作り(モノヅクリ)	1/10	北村家	13人		
藍染め講座	しぼり染め初級	4/24・25	伝統工芸館	7人	
	しぼり染め初級	10/23・24	伝統工芸館	10人	
	しぼり染め中級	2/19・20	伝統工芸館	12人	
	型染め初級	7/24・25	伝統工芸館	15人	
	型染め中級	9/18・19	伝統工芸館	10人	
千支の型染め	11/27・28	伝統工芸館	16人		
特別公開	古民家ライトアップ—昔話・夜なべ仕事・昔のあかり体験	4/17・18 10/16・17	宿場・信越の村	炬燵の会(ボランティア)・民具製作技術保存会 2年ぶりに佐々木家公開。落語、昔話など。昔のあかり体験時間延長。	673人
	旧船越の舞台	9/25～10/17	の十日祝9回	国指定重要有形民俗文化財の内部公開。炬燵の会	1,944人
日本民家園まつり	無料開園	11/3	全園	農村歌舞伎公演のみ有料化	5,386人
	農村歌舞伎	11/3	船越の舞台	「菅原伝授手習鑑 寺子屋の場」秋川歌舞伎あきるの座	402人
	むかし遊び	11/3	太田家他	むかし遊び—民具着用体験、輪投げ、竹馬、機織りなど。頒布会は、日祝のみ。民具製作技術保存会	480人
	民具製作技術保存会作品展示&頒布会	10/3～11/21	太田家、原家、三澤家	—	—
	伝統技術実演	11/2・3	佐々木家他	堂宮彫刻など。伝統技術技法を保存継承する会、日本水引工芸研究会	—
芸能	人形浄瑠璃	9/26	工藤家	「坂田金時 怪童丸物語 足柄山の段」相摸人形芝居中座	127人
	生田緑地サマーミュージアム「納涼民家園」	7/31・8/1	生田緑地	民家でござる、蚊帳体験、水鉄砲、洗濯板で洗濯、井戸汲み体験など	801人
	多摩区民祭	9/25	生田緑地	骨董市、市内在住者無料開園	3,359人
催し物	万華鏡のむかし話	毎月第1土曜日	作田家	多摩区ストーリーテリング「おはなし万華鏡」10回	419人
	みちのく・むかし話	奇数月第3土曜	菅原家	みちのく3人語り 6回	245人
	遠野の語り	偶数月第3土曜	工藤家	大平悦子 5回	420人
	お国言葉で語りっこ	偶数月第4日曜	菅原家	日本民話の会 4回	420人
	お茶会	4/25,5/2,9/10,3/11,7/14	佐々木家	たばな会、和佳会、内田社中・県立川崎北高校茶道部	525人
	おと絵がたり	4/25	作田家	おと絵がたりの会	169人
	むかし遊び	5/3・4・5	作田家ほか	民具製作技術保存会	1,334人
	民具製作技術保存会作品頒布会	5/3・4・5	太田家	民具製作技術保存会	—
	津軽三味線	4/29	作田家	小山貞貴会	117人
	和太鼓	5/5	作田家	中野島親子太鼓「元氣組」	275人
	お茶作り実演	5/8	岩澤家	炬燵の会	80人
	特別実演「お源さまの絹糸—繭から糸を取る」	7/11	野原家	繭から絹糸を取り出す、くず繭から糸をずり出す。民具製作技術保存会	118人
	お月見しよう	9/18	北村家、青少年科学館他	十五夜のお供え作り。科学館では月の学習や望遠鏡での観望。炬燵の会ほか	15人+17人
	実演「大工仕事と体験「こども大工入門」	10/24	作田家	昔の大工仕事実演。屋根葺き・壁塗り等の体験。神奈川土建川崎多摩支部ほか	100人
	お正月を遊ぶ	1/4	作田家他	正月遊び、餅つき、獅子舞など。着物で入園無料。三吉野、炬燵の会、民技会	740人
見学「屋根の葺き替え」	2/12	伊藤家	外山明彦・安田徹也(園職員)	17人	
解説ガイド	民家解説	第4土曜9回	園内	1時間で1つの村を案内。野呂瀬正男(文化財建築技師)	197人
	園内ガイド	通年 300回	園内	30分で園の半分程を案内。土・日・祝は午前と午後、平日は午後。炬燵の会。	2,313人
	団体ガイド(日本語)	年間	園内	団体の希望に応じ園内をガイド。炬燵の会	80団体
床上公開	英語ガイド	年間	園内	英語によるガイド。炬燵の会	12団体
	民具製作技術実演	毎日 962棟	3～5棟	炬燵の会	646団体 129,429人
民具製作技術実演	通年	園内	わら・竹細工・はた織り、紙すき。民具製作技術保存会、柄戸忠二	277回	
学校体験学習	年間	佐々木家、太田家、北村家	大八車・井戸汲み・石臼・天秤棒の体験。園職員	75校	

調査研究・施設管理・その他

事業名	内 容	
調査研究・資料	移築古民家旧所在地調査	旧野原家住宅、旧岩澤家住宅
	収蔵資料の整理	旧野原家住宅、旧鈴木家住宅、旧岩澤家住宅などの関係資料整理。大岡資料(建築)整理。
	目録刊行	「日本民家園収蔵品目録14 旧野原家住宅」刊行。
施設管理	叢書等刊行予定	民家園叢書10「民家は何の木でできているのか」、英語版ガイドブック刊行。
	古民家等保存修理工事	伊藤家・北村家屋根補修、雨漏り応急処置、壁・建具・敷居・土間三和土などの補修。
	園内整備	貯水槽新設工事、作田家他水道設備改修、園路補修、案内板補修・作成など。
その他	職業体験	中高生等の職業体験。3校14人
	博物館実習生の受入	5回各10日間17大学28人

事業名	期 日	会 場	内 容
企画展示	合掌造りー野原家の暮らしー ～5/29	山下家2階	五箇山の合掌造り野原家住宅の暮らしを紹介。展示解説月1回。
	神奈川の村ー愛甲郡清川村・岩澤家		愛甲郡清川村より移築された岩澤家住宅の暮らしを紹介。展示解説月1回。
	井岡家(仮)		奈良市より移築された井岡家住宅の暮らしを紹介。展示解説月1回。
ミニ展示	藍Tー藍染めTシャツのみりよくvol.1.4		型染め、絞り染めによる手作り感あふれる藍染めTシャツの展示。
	講習会作品展示ー型染め初級	伝統工芸館	
	千支2012ー柗形の章		講座受講者と工芸館スタッフによる型染め作品の展示。
	講習会作品展示ー型染め中級		
	節句or花の展示		型染め・絞り染めによる展示
常設展示	文化財建造物展示 本館展示 石造物展示 民俗資料展示	園内 本館展示室 園内 各古民家	移築・復原した古民家等25件。 民家及び民家の生活に関する展示。 園路沿い。道祖神・庚申塔・馬頭観音等。 生活用具・農具等。
年中行事	年中行事展示	毎月 北村家・清宮家・原家	節句雛・田植え祝い・盆棚・小正月飾り等、古民家の年中行事を展示。
展示中	雪開い	11/26～3/11 山田家	茅などで家を囲い、雪と寒さを防ぐ雪開いを再現。

教育普及活動

事業名	期 日	会 場	内 容・講師・出演者・協力団体等	備 考
民家園講座	300歳の民家ーそのみかた・調べ方	6/12・19 原家・園内	民家の構造など見方のポイントと実測実習。外山明彦(園職員)	
	古民家の話ー神奈川の村	7/2・9	大野敏(横浜国立大学准教授)、渋谷卓男・根本佐智子(園職員)	
	民家は何の木でできているか	12/3・10	中尾七重(武蔵大学総合研究所)	
	古民家の話ー宿場	2/18・25	大野敏(横浜国立大学准教授)、渋谷卓男(園職員)	
ボランティア講座	1/15～2/5	原家ほか	新規会員向け、畑山拓登・外山明彦・渋谷卓男他園職員	
体験講座	わら細工 ぞうり	5/22 作田家		
	竹細工 六つ目かご	5/29 原家		
	はた織り 裂き織り	6/12・19・26		
	竹細工 菱四つ目かご	7/3 作田家		
	親子体験「あしなか」	7/24		
	親子体験「竹の玩具」	7/31		
	親子体験「裂き織りを楽しむ」	8/7		
	わら細工 わらじ	10/9 原家	さまざまな民具製作を体験。 民具製作技術保存会	
	綿の美から糸まで	11/6		
	竹細工 手付き六つ目かご	11/13 作田家		
	わら細工 動物	11/23		
	わら細工 しめ縄(たまかざり)	12/23		
	まゆ玉団子作り(モノヅクリ)	1/14 北村家		
藍染め講座	しぼり染め初級	4/23・24		
	型染め初級	7/23・24		
	しぼり染め初級	10/29・30		
	型染め中級	9/17・18	伝統工芸館	絞り染め、型染め。
	千支の型染め	11/26・27		
	しぼり染め中級	2/18・19		
特別公開	夜の民家園	10/15・16	信越の村	昔話、昔のあかり、夜なべ仕事。炉端の会・民具製作技術保存会
	旧船越の舞台	9/23～10/16		国指定重要有形民俗文化財の内部公開。炉端の会
日本民家園まつり	無料開園	11/3 全園		
	農村歌舞伎	11/3 船越の舞台		秋川歌舞伎あきるの座(東京都無形文化財)
	むかし遊び	11/3 太田家他		むかし遊びー民具着用体験、輪投げ、竹馬、機織りなど。
	民具製作技術保存会作品展示&頒布会	10/2～11/20 太田家、原家、鈴木家		頒布会は、日祝のみ。民具製作技術保存会
	伝統技術実演	11/3前後 佐々木家他		堂宮彰利など。伝統技術技法を保存継承する会、日本水引工芸研究会
能五	人形浄瑠璃	9/26 工藤家		相模人形芝居下中座(国指定重要無形民俗文化財)
生田通称地共	生田緑地サマーミュージアム「納涼民家園」	8/7 全園、生田緑地中央部、ゴルフ場		民家でござ寝、蚊帳体験、水鉄砲、井戸汲み体験、うちわ作りなど
	生田緑地3博物館ほか多摩区の団体で実行委員会を組織。			ヒーリングLIVEステージ、親子エコ教室、藤子・F・不二雄スタンプラリー、森林ウォーク、星空観察会、ゴルフ場開放、プロシスター・親子染め体験他
催し物	万華鏡のむかし話	毎月第1土曜日 作田家		多摩区ストーリーテリング「おはなし万華鏡」
	みちのく・むかし話	奇数月第3土曜 菅原家		みちのく3人語り
	遠野の語り	偶数月第3土曜 工藤家		大平悦子
	お国言葉で語りっこ	偶数月第4日曜 菅原家		日本民話の会
	お茶会	5/1・21・22 10/23・11/6・13 佐々木家		たちばな会、和佳会、内田社中・県立川崎北高校茶道部
	おと絵がたり	4/23 作田家		おと絵がたりの会
	むかし遊び	5/1・3・5 作田家ほか		民具製作技術保存会
	琵琶と人形による語り舞台	4/17 佐々木家		kikiふおれすと
	箏語り	4/30・ 作田家		東風・景山聖子
	和太鼓	5/3 作田家		かなほど座
	特別実演「お蚕さまの絹糸ー繭から糸を取る」	7/17 野原家		繭から絹糸を取り出す、くず繭から糸をずり出す。民具製作技術保存会
	お月見しよう	9/10 北村家、科学館他		十五夜のお供え(団子、けんちん汁など)を作り年中行事を体験。科学館では月の学習や望遠鏡での観望。炉端の会ほか
	合掌の里「世界遺産・五箇山」がやってくる!	10/15・16 野原家ほか		
	実演「大工仕事」と体験「こども大工入門」	10/23 作田家		チョウナなどの昔の大工仕事実演と、屋根葺き替え・壁塗り・のこぎり・かんなど体験。神奈川土建川崎多摩支部ほか
	お正月を遊ぶ	1/4 作田家他		お正月遊び、しめ縄展示、餅つき実演・子ども体験、昔話お正月編、獅子舞など。着物着用で入園無料。三吉野、炉端の会、民具製作技術保存会
	見学「屋根の葺き替え」			外山明彦(園職員)
ド解説ガイ	民家解説	第4土曜 園内		1時間で1つの村を案内。
	園内ガイド	通年 園内		土・日・祝は午前と午後、平日は午後。炉端の会。
	団体ガイド(日本語)	年間 年間		団体の希望に応じ園内をガイド。炉端の会
	英語ガイド	年間 年間		英語によるガイド。炉端の会
床上公開		毎日 3～5棟		囲炉裏に火を入れ、床上部分を来訪者に公開・解説。炉端の会
民具製作技術実演		不定期の日曜日 園内		わら細工・竹細工・はた織り、紙すきの実演。民具製作技術保存会、柄戸忠二
学校体験学習		年間 園内		大八車・井戸汲み・石臼・天秤棒の体験。園職員
博物館実習生受入				5回各10日間

調査研究・施設管理・その他

事業名	内 容
整理調査研究・資料	移築古民家旧所在地調査 旧井岡家住宅、旧太田家住宅 収蔵資料の整理 旧岩澤家住宅、旧井岡家住宅、旧太田家住宅などの関係資料整理。 大岡資料(建築)整理。 目録刊行 「日本民家園収蔵品目録15 旧岩澤家住宅」「日本民家園収蔵品目録16 旧井岡家住宅」 農書等刊行 民家園農書12「日本民家園草創期の記憶5」
施設管理維持	古民家等保存修理工事 工藤家・山下家屋根補修、雨漏り応急処置、壁・建具・敷居・土間三和土などの補修。 園内整備 総合防災整備工事(江向家・佐々木家・北村家・伊藤家消火設備更新)、耐震診断(鈴木家・三澤家)、植栽整備、倒木・危険木伐採、園路補修、案内板補修・作成など。